

令和4・5年度  
児童館活動研究報告書



愛知の児童館



愛知県児童館連絡協議会  
活動研究委員会

## 目次

|                                   |    |
|-----------------------------------|----|
| 発刊のことば                            | 1  |
| アンケート調査結果                         | 2  |
| 1. 児童館ガイドラインの周知・活用について            | 2  |
| 2. 児童館の利用者について                    | 3  |
| 3. 児童館の利用方法について                   | 3  |
| 4. 児童館の遊びの環境について                  | 4  |
| 5. 児童館で実施している諸活動の内容について           | 6  |
| 6. 児童館で配慮を必要とする子ども（要保護児童）への対応について | 10 |
| 7. 子どもが参画する取り組みについて               | 12 |
| 8. 理想の児童館について                     | 14 |
| まとめ～調査結果からの考察～                    | 19 |
| おわりに                              | 20 |

### 研究テーマ

「児童館ガイドライン」から理想の児童館を考える

### 調査の概要

#### ✧調査の目的

児童館の運営や活動が地域の期待に応えるための基本的事項を示し、望ましい方向を目指すものとして、平成23年3月に「児童館ガイドライン」が策定され、その後、地域の子ども・子育て支援に資する児童福祉施設としての児童館の更なる機能拡充を目指し、平成30年10月に「児童館ガイドライン」が改正されました。

この「児童館ガイドライン」に基づき、改めて児童館の「在り方」を知り、求められている「役割」を再確認するとともに、「理想の」児童館を考えることを目的とします。

✧アンケート調査実施期間：令和5年2月14日～3月3日

✧アンケート調査実施施設：愛知県児童館連絡協議会加入児童館（全271館）

✧アンケート回収率：100%（全271館）

## 発刊のことば

児童館に携わる皆様方におかれましては、日頃から子どもの健全育成にご尽力いただき、誠にありがとうございます。また、愛知県児童館連絡協議会へのご理解・ご協力、心より感謝申し上げます。

近年、少子化や地域のつながりの希薄化が進み、子どもと子育て家庭を取り巻く環境は大きく変化しており、子育てについて行政や地域をはじめ、社会全体で支援していくことが求められています。

児童館は18歳未満のすべての子どもを対象とし、その置かれている環境や状況に関わりなく、子どもが自らの意思で来館することができ、様々な遊びや学習等を通じ、子ども同士や児童館職員との交流を図りながら、子どもの自主性、社会性、創造性などを育むとともに、すべての子どもが安心して過ごすことができる居場所（第3の居場所）としての中心的な役割が期待されています。また、令和5年4月に「こどもまんなか社会」の実現に向け、こども家庭庁が創設されました。これまで児童館として取り組んできた子どもや子育て家庭からの相談対応はもちろんのこと、相談等につながらない家庭を発掘し、適切につなげていくなど、地域の子育て相談機関としての機能も期待されています。

こうした中、愛知県児童館連絡協議会は県内の児童館と連携し、児童館が地域における「こどもの居場所」として、その機能・役割を十分に発揮し、子どもや保護者に寄り添い、誰もが安全・安心して利用できる場所として機能するよう、児童館活動のさらなる向上に努めております。この「がんばれ愛知の児童館」は本協議会の活動研究委員会のメンバーが日頃の児童館活動を現場の視点でまとめた冊子であります。児童館に携わる皆様の参考になれば幸いです。

愛知県児童館連絡協議会

会長 恒川 正樹

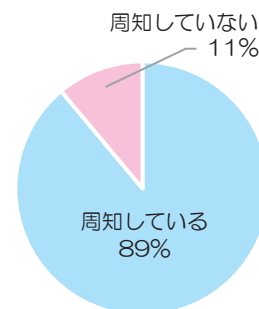


# アンケート調査結果

## 1. 児童館ガイドラインの周知・活用について

Q1-1 児童館職員に「児童館ガイドライン」を周知していますか？

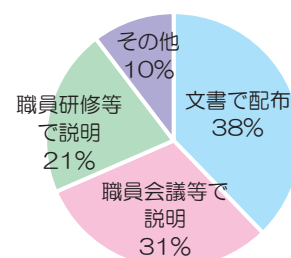
|         |     |
|---------|-----|
| 周知している  | 241 |
| 周知していない | 30  |
| 計       | 271 |



(Q1-1で「周知している」と回答した方のみ)

Q1-2 どのような手段で職員に周知しましたか？

|          |     |
|----------|-----|
| 文書で配布    | 91  |
| 職員会議等で説明 | 74  |
| 職員研修等で説明 | 51  |
| その他      | 25  |
| 計        | 241 |

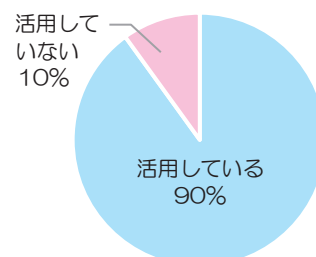


(【Q1-2】その他の主な記述)

- パソコン内に保存し、定期的を確認している
- 事務所に掲示したり、ファイルにとじて、いつでも確認できるようにしている
- ガイドラインとしてではなく、児童館の在り方や役割の考え方として周知している
- 必要に応じて適宜説明している

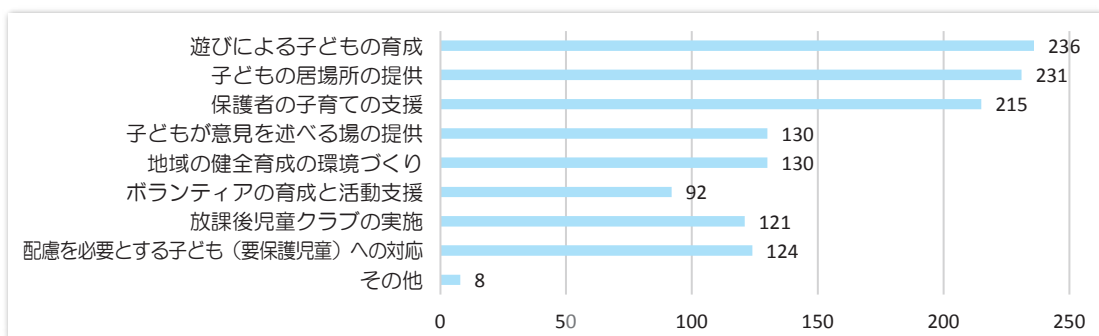
Q1-3 児童館の運営面に児童館ガイドラインを活用していますか？

|         |     |
|---------|-----|
| 活用している  | 244 |
| 活用していない | 27  |
| 計       | 271 |



(Q1-3で「活用している」と回答した方のみ)

Q1-4 児童館ガイドラインに基づく児童館活動内容の中で、あなたの児童館で実施している主な内容は何ですか？(複数回答可)

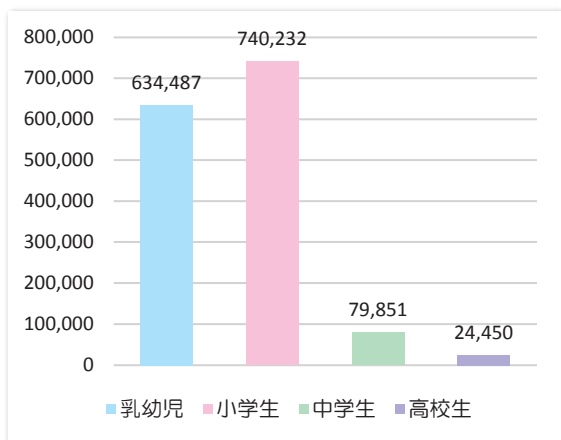


(【Q1-4】その他の主な記述)

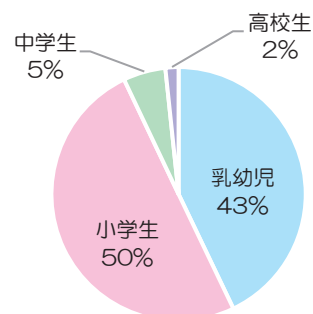
- 交通安全啓発
- 子どもたちと野菜づくり、町内・高齢者との交流
- 「県内児童館の連絡調整・支援」「広域的・専門的健全育成活動の展開」を実施している

## 2. 児童館の利用者について

Q2-1 年齢層ごとの利用者数（令和4年4月～12月までの全児童館の総合計）※児童クラブ利用者を除く

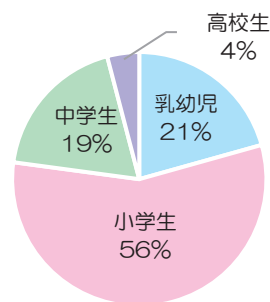


年齢層ごとの利用者の割合



Q2-2 今後どの年齢層を増やしたいですか？

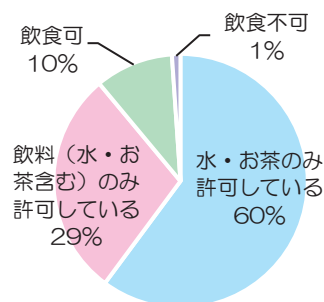
|     |     |
|-----|-----|
| 乳幼児 | 56  |
| 小学生 | 153 |
| 中学生 | 51  |
| 高校生 | 11  |
| 計   | 271 |



## 3. 児童館の利用方法について

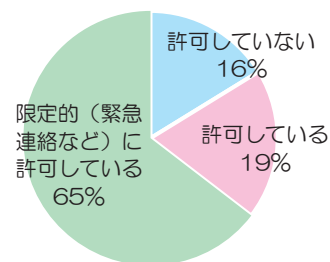
Q3-1 施設内での飲食を許可していますか？

|                    |     |
|--------------------|-----|
| 水・お茶のみ許可している       | 163 |
| 飲料（水・お茶含む）のみ許可している | 78  |
| 飲食可                | 27  |
| 飲食不可               | 3   |
| 計                  | 271 |



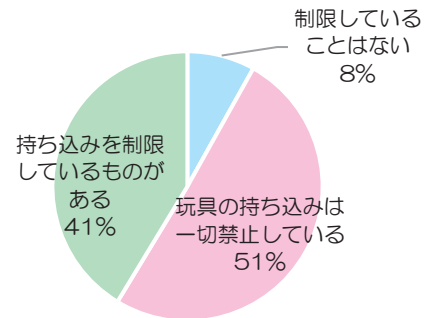
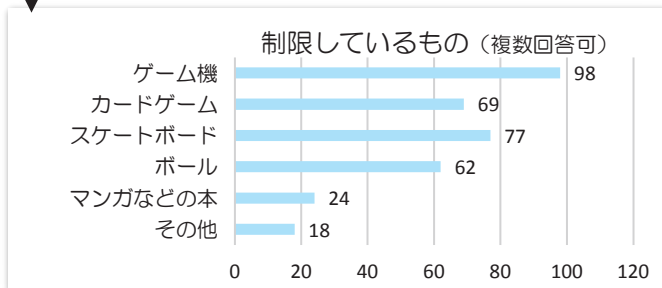
Q3-2 施設内での携帯・スマートフォンの利用は許可していますか？

|                    |     |
|--------------------|-----|
| 許可していない            | 44  |
| 許可している             | 52  |
| 限定的（緊急連絡など）に許可している | 175 |
| 計                  | 271 |



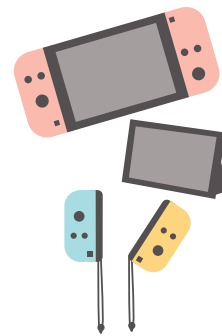
Q3-3 施設内への玩具(ゲーム機を含む)の持ち込みなど、遊びに制限していることはありますか？

|                  |     |
|------------------|-----|
| 制限していることはない      | 22  |
| 玩具の持ち込みは一切禁止している | 137 |
| 持ち込みを制限しているものがある | 112 |
| 計                | 271 |



(【Q3-3】その他の主な記述)

- 私物
- お金、高価な物
- エアガン、BB弾の銃、フィギュア等
- ゲームは30分のみ可能
- ランドセル等学校帰りの用品
- 個人所有のおもちゃ
- 壊れるもの、友達と共有できないもの
- 児童館や他の利用者の迷惑になるもの
- 破損・紛失等が起きると困るもの
- 児童館での使用に適さないものについては、臨機応変に対応
- 持ち込みは制限していないが使用は不可
- 危険が及ぶもの、ボール等も物により不可
- 自転車、ストライダー

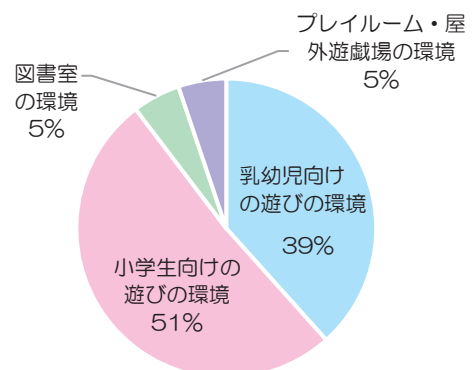


#### 4. 児童館の遊びの環境について

Q4-1 児童館で充実している環境は何ですか？

|                 |     |
|-----------------|-----|
| 乳幼児向けの遊びの環境     | 104 |
| 小学生向けの遊びの環境     | 139 |
| 図書室の環境          | 14  |
| プレイルーム・屋外遊戯場の環境 | 14  |
| 計               | 271 |

※「中学生向けの遊びの環境」は回答なし



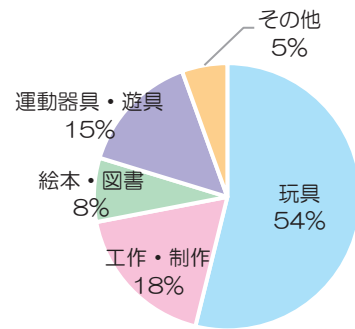
Q4-2 Q4-1で選んだ環境の中で、どの遊びが充実していますか？

|         |     |
|---------|-----|
| 玩具      | 146 |
| 工作・制作   | 49  |
| 絵本・図書   | 21  |
| 運動器具・遊具 | 40  |
| その他     | 15  |
| 計       | 271 |

※「楽器」は回答なし

(【Q4-2】その他の主な記述)

- キロクに挑戦!
- ボードゲーム
- 戸外遊び等の広い空間を利用した遊び
- 遊びのプログラム



Q4-3 おすすめの遊び

(室内)

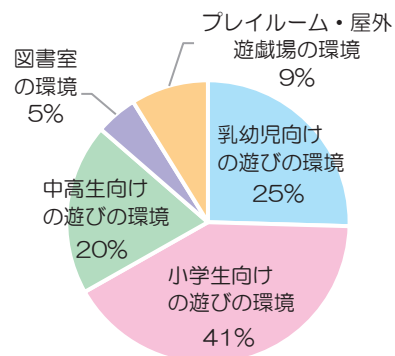
- おままごと
- 将棋、オセロ
- パズル
- カードゲーム、ボードゲーム
- マンカラ
- 木のおもちゃ、つみき
- ブロック
- 昔の遊び(けん玉、こま、あやとり)
- 絵本、マンガ、図鑑
- 手作りおもちゃ
- 自由工作(季節、壁面飾り)
- 車、電車
- プラ板、アイロンビーズ
- 音の出るおもちゃ
- 科学教室イベント

(遊戯室、戸外)

- ドッジボール
- 卓球
- バスケットボール
- フラフープ
- バドミントン
- なわとび
- 鬼ごっこ
- トランポリン
- 平均台
- すべり台
- ジャングルジム
- 風船
- 記録にチャレンジゲーム
- キャップ鬼
- 個人戦ドッチビー
- マット

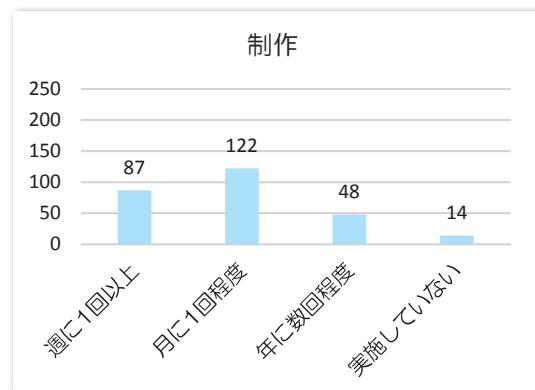
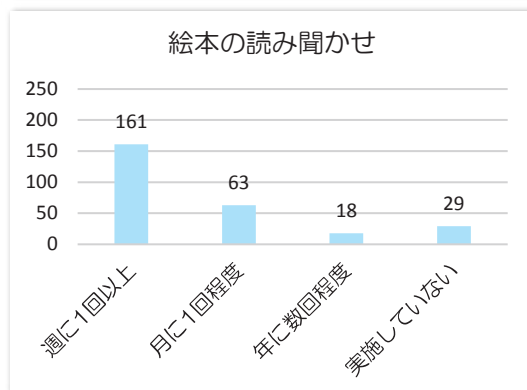
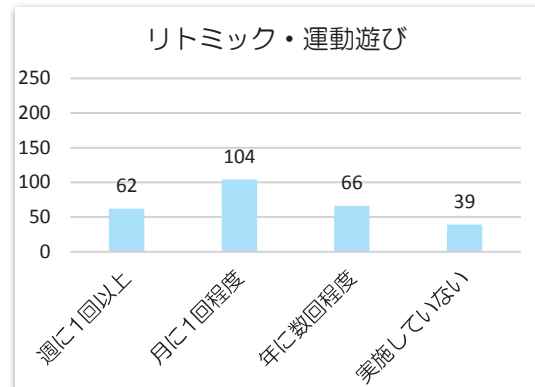
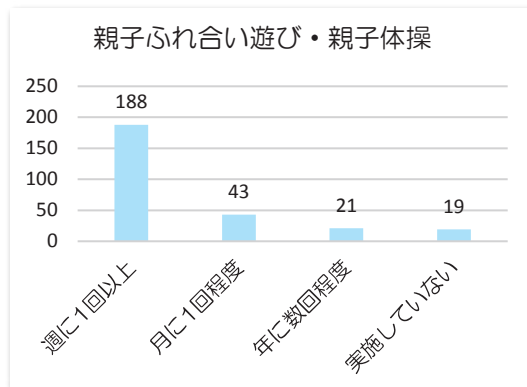
Q4-4 今後、充実していきたい環境は何ですか？

|                 |     |
|-----------------|-----|
| 乳幼児向けの遊びの環境     | 69  |
| 小学生向けの遊びの環境     | 112 |
| 中高生向けの遊びの環境     | 53  |
| 図書室の環境          | 13  |
| プレイルーム・屋外遊戯場の環境 | 24  |
| 計               | 271 |



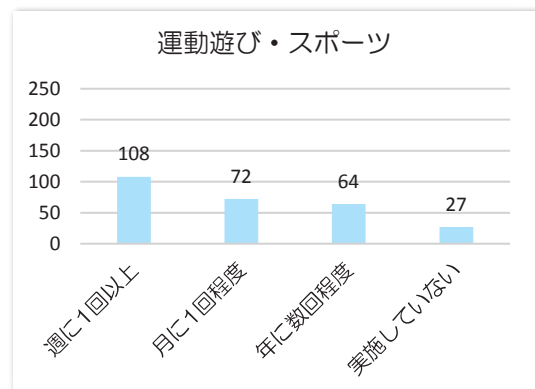
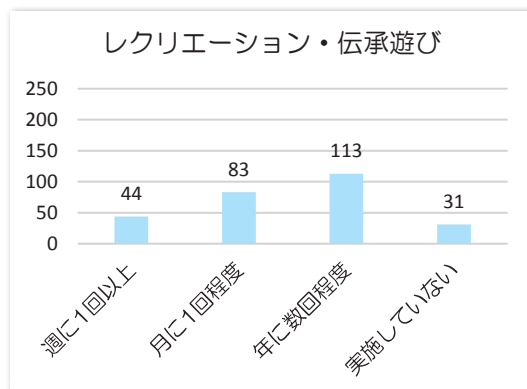
## 5. 児童館で実施している諸活動の内容について

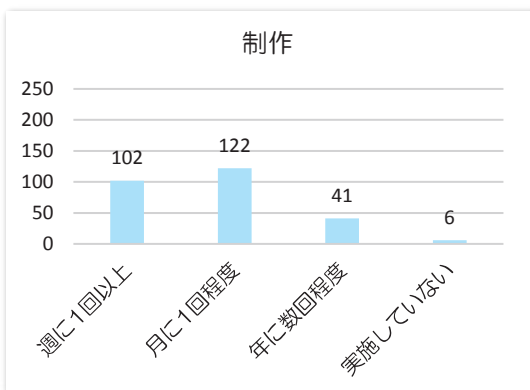
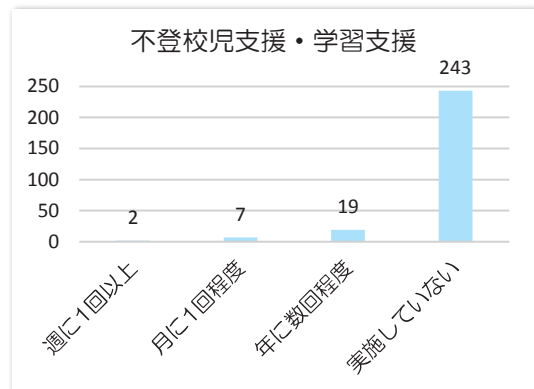
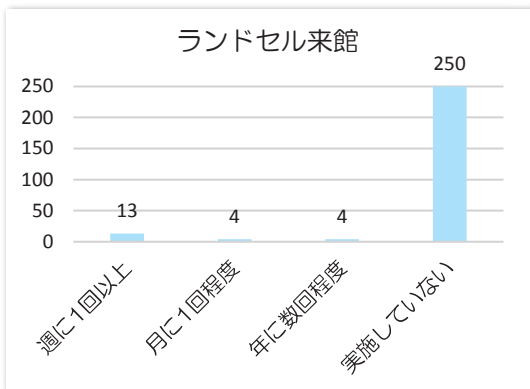
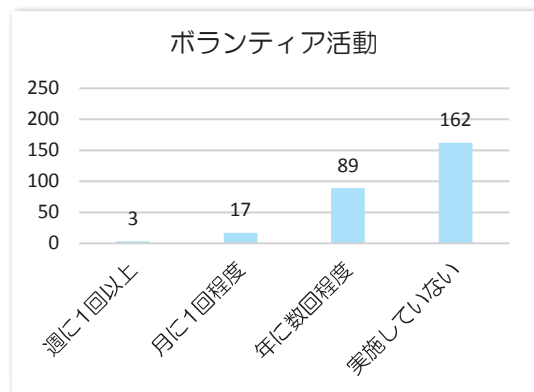
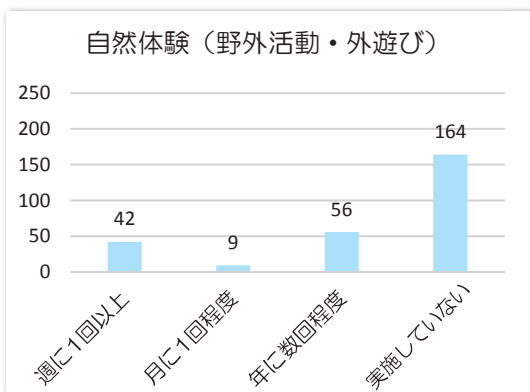
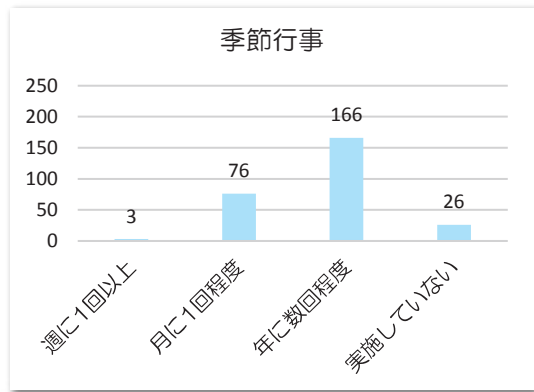
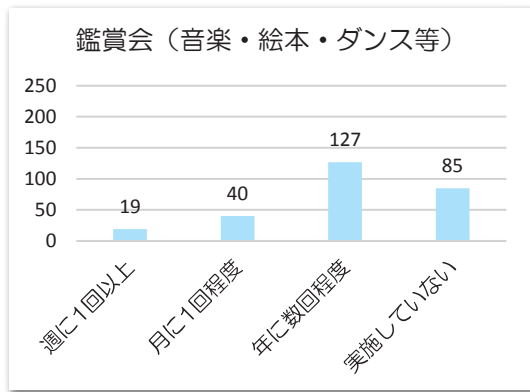
Q5-1 乳幼児親子向けの活動のうち、次の活動の実施頻度は、どのくらいですか？



乳幼児親子向けの活動は抵抗なく企画し、頻繁に定期的に教室的な感覚で行っている児童館が多いね。

Q5-2 小学生向けの活動は、何を実施していますか？実施頻度は、どのくらいですか？

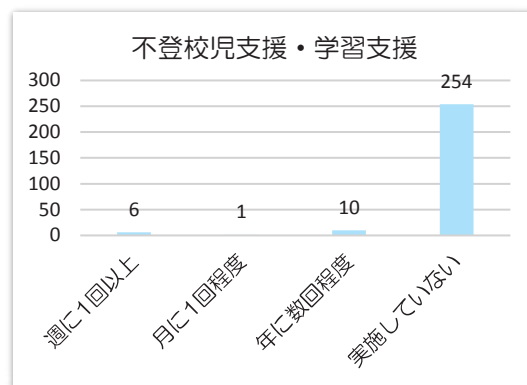
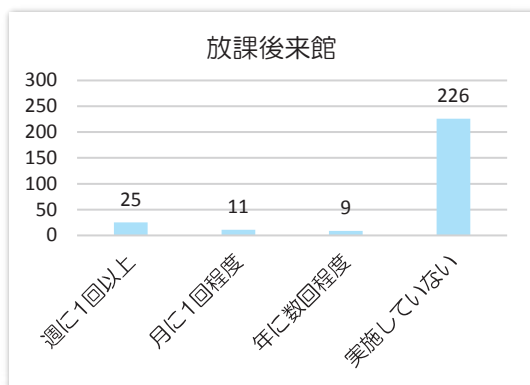
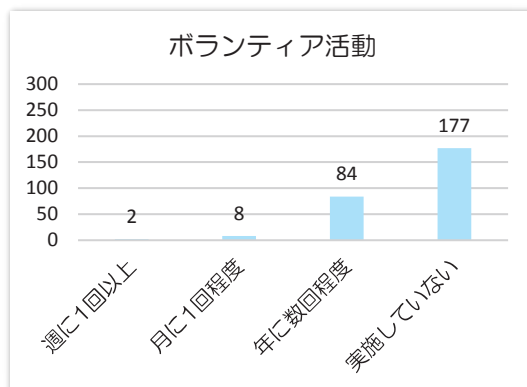
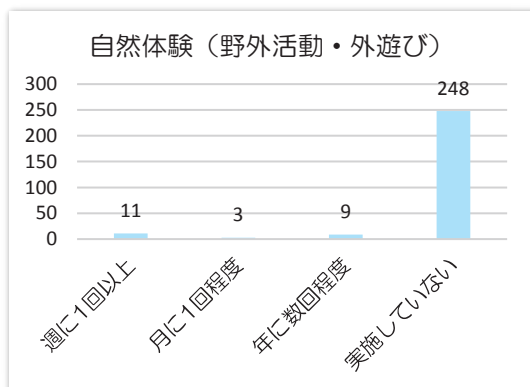
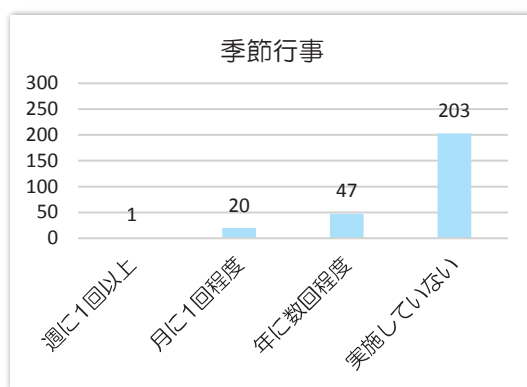
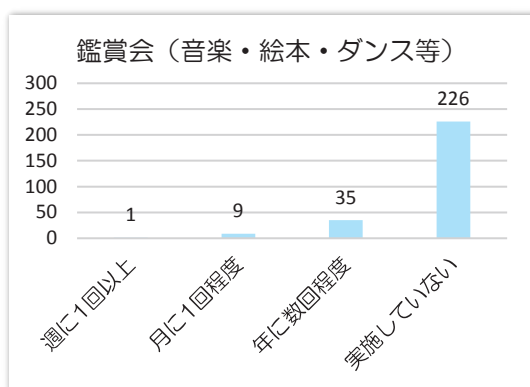
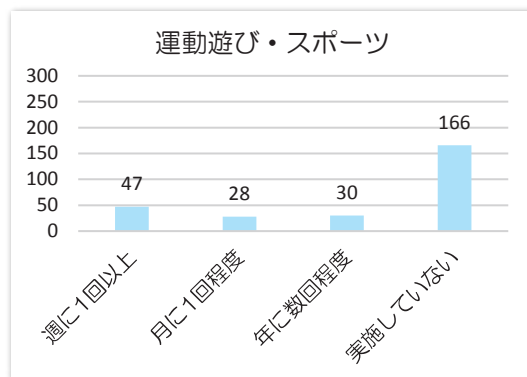
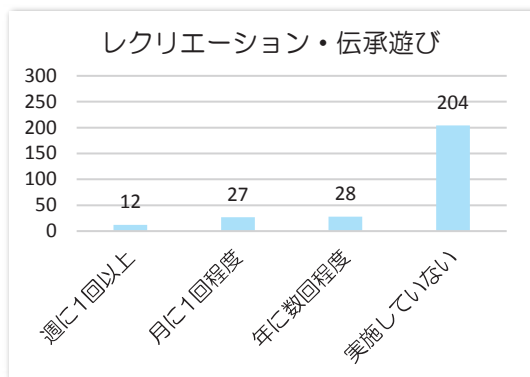


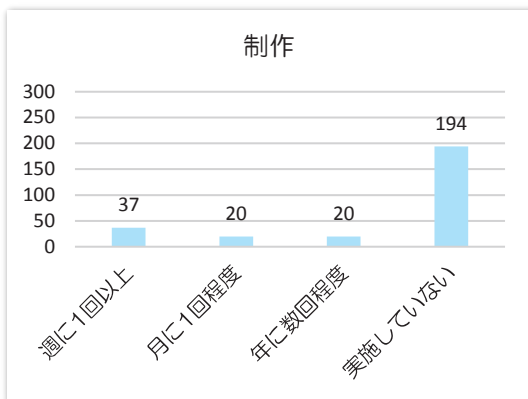


乳幼児親子さんと比較し小学生向けの活動は、運動遊び、季節の行事等、イベントとして年に数回程度で実施している児童館が多いね。

ランドセル来館については、大多数の児童館で実施されていないけど、少数ではあるが実施している館もあるね。

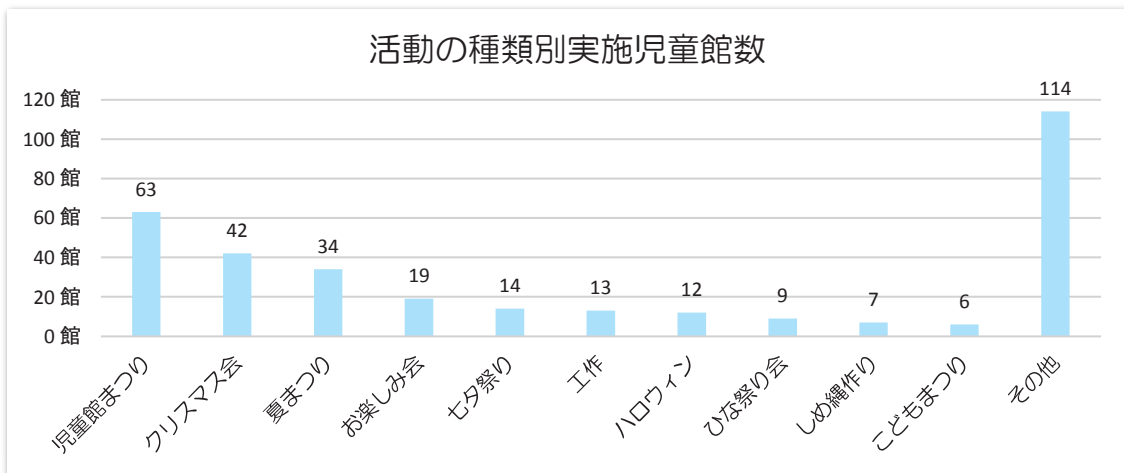
Q5-3 中学生向けの活動は、何を実施していますか？実施頻度は、どのくらいですか？





中学生向けの活動は、実施していない児童館が多いけど、少しでも来館してもらい、また足を運んでもらえるように、鑑賞会や季節行事などを企画している児童館もあるよ。また、ボランティア活動としての来館が多いことが特徴的で、学校と連携をとり、ボランティア活動などを通して、児童館の良さを知ってもらおうきっかけになっていると推察されるね。

Q5-4 全年齢層を対象に児童館が実施している活動をご記入ください。（自由記述）



（【Q5-4】その他の主な記述）

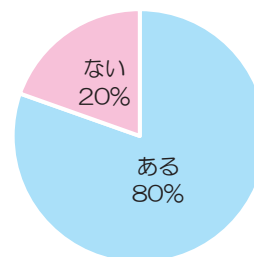
- |                  |          |               |
|------------------|----------|---------------|
| ●YouTube動画配信     | ●映画会     | ●商店街連携イベント    |
| ●伝承遊び            | ●演奏会     | ●新学期おたのしみ会    |
| ●おたんじょうび会        | ●子ども発表会  | ●親子あそび        |
| ●ボードゲーム          | ●児童館マルシェ | ●親子ふれあいスポーツ大会 |
| ●チャレンジ           | ●人形劇     | ●水鉄砲バトル       |
| ●サイエンス/マジックショー   | ●地域交流事業  | ●凧揚げ大会        |
| ●クイズラリー          | ●eスポーツ   | ●調理企画         |
| ●ファミリー向けレクリエーション | ●季節の小物作り | ●読み聞かせ        |
| ●プラネタリウム         | ●手芸教室    | ●避難訓練         |
| ●運動会             | ●収穫祭     | ●百人一首大会       |
|                  | ●出前児童館   | ●宝くじ          |



## 6. 児童館で配慮を必要とする子ども（要保護児童）への対応について

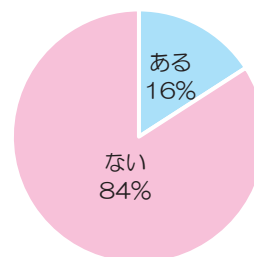
Q 6-1 障害が疑われるお子さんの利用はありますか？

|    |     |
|----|-----|
| ある | 218 |
| ない | 53  |
| 計  | 271 |



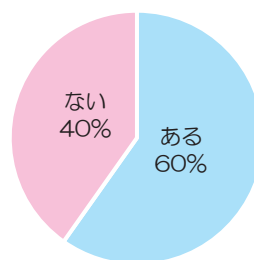
Q 6-2 ヤングケアラーが疑われるお子さんの対応をしたことはありますか？

|    |     |
|----|-----|
| ある | 43  |
| ない | 228 |
| 計  | 271 |



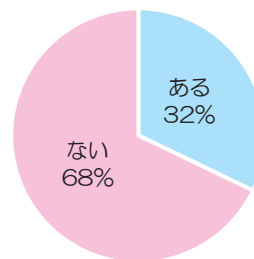
Q 6-3 友人関係に悩みを抱えていたり、いじめが疑われるお子さんの対応をしたことはありますか？

|    |     |
|----|-----|
| ある | 162 |
| ない | 109 |
| 計  | 271 |



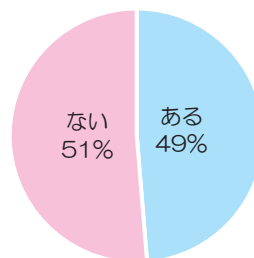
Q 6-4 虐待が疑われるお子さんの対応をしたことはありますか？

|    |     |
|----|-----|
| ある | 87  |
| ない | 184 |
| 計  | 271 |



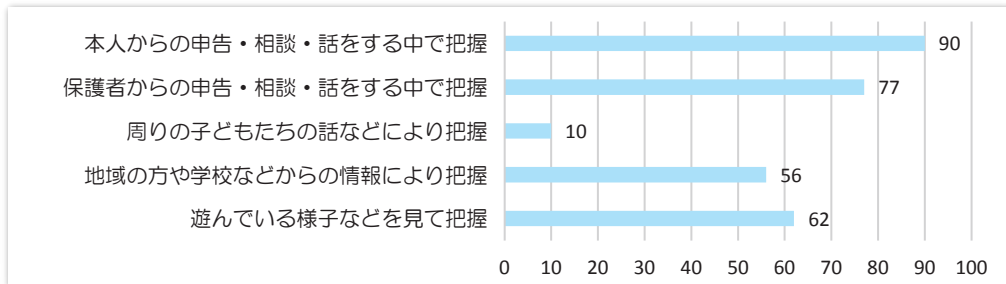
Q 6-5 不登校が疑われるお子さんの利用はありますか？

|    |     |
|----|-----|
| ある | 132 |
| ない | 139 |
| 計  | 271 |

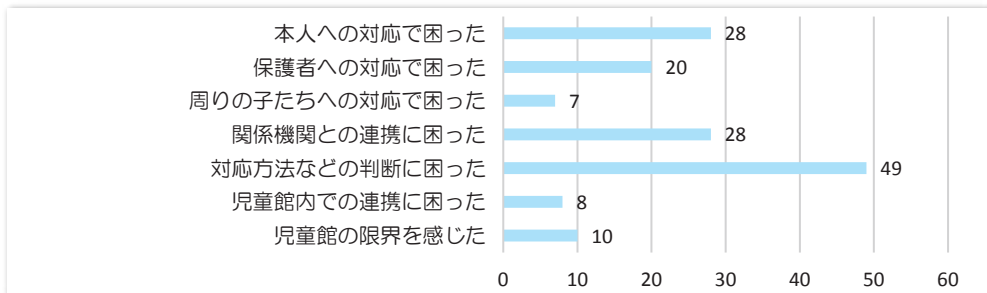


(Q6-1~5のいずれか1つ以上対応したことがある方のみ)

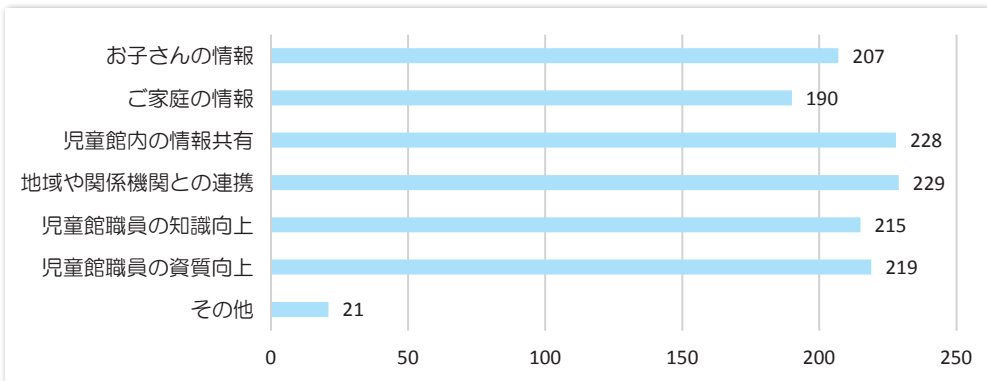
Q6-6 対象児童であることをどのように把握しましたか？(自由記述)



Q6-7 対応した際に、困った(悩んだ)ことはありましたか？(自由記述)



Q6-8 児童館の対応として何が大切(必要)であると考えますか？(複数回答可)



(【Q6-8】その他の主な記述)

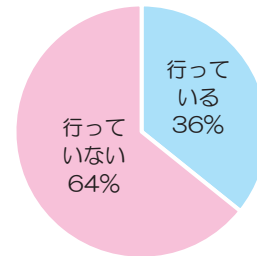
- 子ども同士の共存
- 学校との連携
- 関係機関が限られているので、他の機関ともつながりを持ちたい
- 居場所づくり
- 個々に応じた遊育環境
- 子どもとの信頼関係、保護者との信頼関係
- 児童館から次の支援機関へとつなげるための連携
- 児童館という場所が誰でもいつでも来やすい場所になる
- 児童館は聞いてあげて、必要なら専門機関につなげる
- 児童館は話を聞いてもらえる場所でもあるという地域の人へのPR
- 児童館職員の対応人数、職員の増員
- 職員のやる気
- 正規職員(常勤職員)がいることが必要
- 専門家のアドバイスを受けながら、対応方法を従業員全員で一緒に考えて決める
- 対象児とその保護者の今の姿を受け止める職員の姿勢
- 配慮する児童とのつながりが途切れないよう通い続けてもらえるような配慮
- 話がしやすい適切な場所の提供

## 7. 子どもが参画する取り組みについて

Q7-1 児童館で、子どもが参画(※)する取り組みを行っていますか？

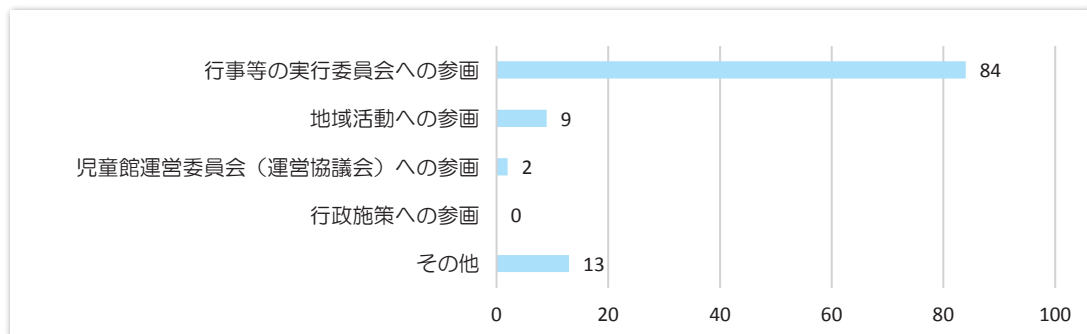
(※参画とは、事業や政策などの計画に加わることを意味し、ここでは子どもたちが主体的に児童館に関わり、課題を見つけ出し、それを解決するために主に児童館づくりに参画していくことを言います。)

|        |     |
|--------|-----|
| 行っている  | 97  |
| 行っていない | 174 |
| 計      | 271 |



(Q7-1で「行っている」と回答した方のみ)

Q7-2 どのような取り組みをしていますか？



(【Q7-2】その他の主な記述)

- こども会議の実施
- 館内での活動
- 「子どものきもちカード」にて、子どものやりたいあそびを集約し実施している
- 子どもクラブ(自主サークル)の立ち上げ、運営
- 行事等のときに、お手伝い募集をして参加してもらっている
- 子どもから自由意見の収集、こどもプランナーの設置
- こどもプランナー(スタッフ)
- 子ども会のイベントなどに子どもたちの意見を取り入れている
- 夏休みの行事(プレイデー)
- 児童クラブの帰りの会で、こども会議を行い児童センターへの要望を話し合っている



子どもの意見を聴くだけで終わらせることなく、実際の行事運営に子どもの声を生かすことで、企画や準備をどう工夫すれば運営効果がでるのかを、肌身で感じるすることができるよい機会になるね。

行事にただ参加するだけよりも責任が伴う経験は大変だけど、より達成感を感じることでできる貴重な体験になると思うよ。

Q 7-2 どのような取り組みをしているか具体的にご記入ください。（自由記述）

#### 『行事への参画』

- 行事の計画から運営・進行・記録等  
（1年生歓迎会・赤ちゃんと遊ぼう・夏まつり・お化け屋敷・工作教室・季節行事・お楽しみ会・お別れ会・児童館まつり・お店屋さんごっこ・ハンドベル演奏・クリスマス会・地域の行事・ダンスの発表等）
- 地域の小学生や中学生のボランティアを募り、行事の企画・運営。
- 小学生向けのレクリエーションを児童クラブの児童と計画・準備・実行した。
- 商店街ごっこを行う際に店の看板や一部の商品製作を担当するとともに、実際に店側と消費者側になって運営している。
- 行事での司会進行、出し物の企画参加。行事ボランティアとして運営に参加。反省点を子ども自身が次の行事に生かせるように継続した参加を促している。

#### 『委員会への参画』

- 委員の募集をして、会議日程を決め、何がしたいのか、何を準備するのか等、計画から話し合い、なるべく自分たちで準備し、相談に応じながら進めていく。
- 実行委員を募集して、行事で行う遊びを企画し、準備や当日のサポートをしてもらっている。
- 実行委員会形式でおまつりの会議・準備・運営を行った。

#### 『環境整備への参画』

- 児童館内のルールの見直し。
- 意見ボックスを設置し、意見を開示して共有している。それらを基に、児童と一緒に考え、話し合っ、企画に繋げたり、問題解決への糸口にしたりしている。
- 子どもの意見カードでアンケートを取り、こどものき・も・ち事業を行った。
- 学校支給のタブレットの使用ルールの見直し、塗り絵の希望、新しいおもちゃの希望、館内のルールの理由説明。
- 不要になったビニール袋やクレヨン等を使って子どもたちが取り組みやすい製作をし、児童館の窓などに飾っている。
- 暑い夏を涼しく、寒い冬を暖かく過ごすため、エコエコチャレンジと題し、子どもたちの作品を窓辺に飾り、気温の変化などを測定して、快適な環境づくりを行った。

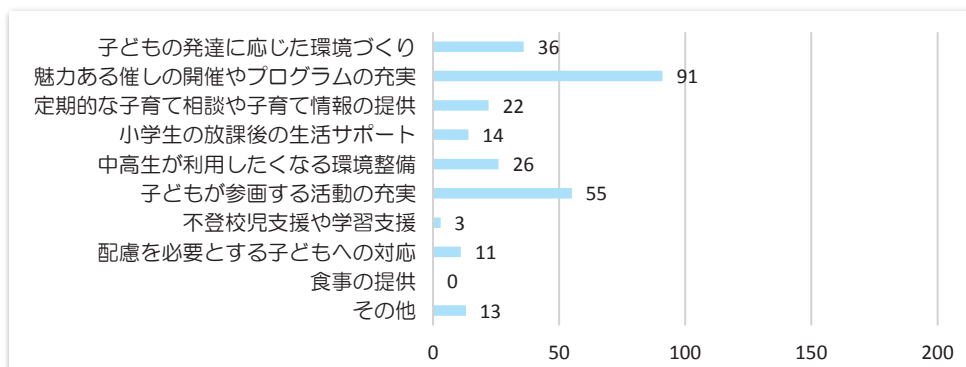
#### 『異世代の交流』

- 子どもたちが意見を出し合い、遊びに取り組む中で異年齢の交流を楽しむ。



## 8. 理想の児童館について

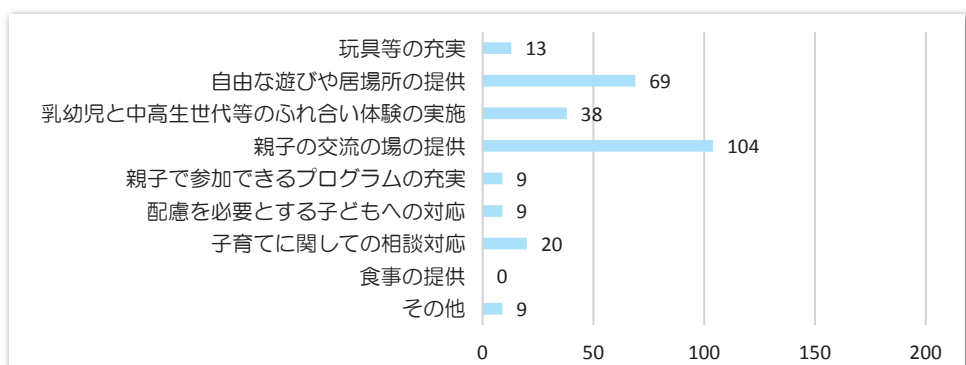
Q8-1 今後、児童館が特に力を入れていくべきことは何だと思えますか？



（【Q8-1】その他の主な記述）

- 知らない子ども同士をつなげる遊び、友達づくりの場
- お母さんたちの情報交換の場
- 小・中・高校生の居場所
- どの世代の子どもたちもいつでも気軽に来館できる居心地のよい第3の居場所となる環境づくり
- 誰にとっても、居場所となるような環境と対応
- 自由にあそべる場所の提供
- 多世代の居場所となる環境づくり
- 利用者ニーズに合わせるだけ
- 地域の人たちをつなげる役割
- 母親が気軽に集い、おしゃべりできる機会やリフレッシュできる講座（ヨガなど）の開催（一時的な託児もあるとよい）
- 児童館という名前から小学生対象の施設というイメージになりがちなので、0～18歳までが利用できる施設であるというアピールが必要

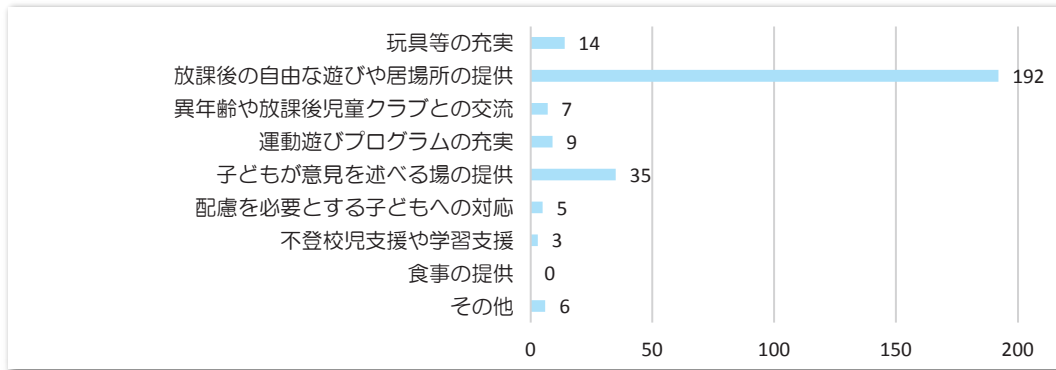
Q8-2 乳幼児親子対象の取り組みで、特に力を入れていくべきことは何だと思えますか？



（【Q8-2】その他の主な記述）

- 親同士が交流でき、仲間づくりができる環境や事業
- 食事の場の提供
- 子どもへの接し方や関わり方など乳幼児期の親子関係の大切さを伝える親支援
- 保護者のエンパワメントを引き出す活動
- 親子が自由に過ごす中で、気軽に話したり、悩みを相談したりして、保護者同士がつながれる場所となること
- 居場所づくり
- 配慮を必要とする親子（特に親）への対応

Q8-3 小学生対象の取り組みで、特に力を入れていくべきことは何だと思えますか？



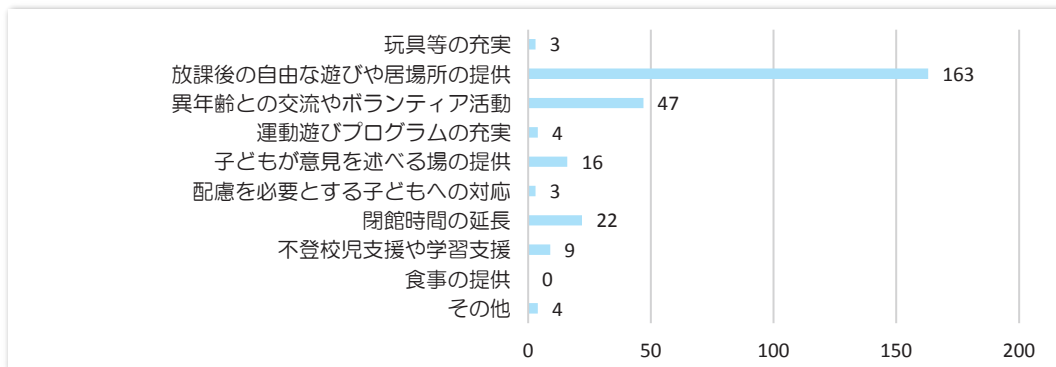
(【Q8-3】 その他の主な記述)

- 誰にとっても、居場所となるような環境と対応
- 集団でのレクリエーション
- 子どもが参画する活動
- 地域の異世代と交流できる行事等



児童館全体としては、「魅力ある催しの開催やプログラムの充実」と回答する児童館が多く、乳幼児親子ならびに小中高生、どの対象も、「自由な遊びや居場所の提供」と回答する児童館が多かったよ。

Q8-4 中高生対象の取り組みで、特に力を入れていくべきことは何だと思えますか？



(【Q8-4】 その他の主な記述)

- 地域の一員だと感じることができるといような活動や関わり
- 小学生への遊びの伝承やリーダーシップが活かせる場
- 子どもが参画する活動

Q 8-5 理想の児童館に向けて、あなたが今後取り組んでいきたいことをご記入ください。(自由記述)

『遊びによる子どもの育成』

- 大きなイベントではなく、子どもたちの日々のちょっとしたすき間を埋められるような取り組みをしていきたい。
- 行事で伝承遊びからeスポーツまで取り入れて行いたい。
- 子どもたちが参加してくれる工作などで、下準備を職員がするのではなく、参加する子どもたちが創意工夫をしながら考えて作る。
- 子どもたちが遊びを考えたり、仲間づくりができ、気兼ねなく自由に遊んだりできる環境や居場所づくりができるとよい。
- 異年齢が参加できる催しを開催し、異年齢が交流を図れる場所を提供したい。
- 自分の児童館だけでなく、児童館全体で遊び場を作ることや鑑賞会等の企画がしてみたい。

『子どもの居場所の提供』

- 催しがなくても子どもたちが安心していられる居場所づくり。職員の笑顔対応。
- 「来てよかった」「また来たい」と思ってもらえるような、ほっと一息できる居場所づくり。
- 問題を抱えている子どもたちが安心できる居場所づくりに取り組んでいきたい。
- いつでも自由に気軽に遊びに来られる児童館、子どもが安心できる「第3の居場所」としての児童館。
- 小中高生が一人で気軽に来館して、誰とでも遊べる環境づくりができればいいと思う。
- 信頼できる大人が児童館にもいると子どもたちに思ってもらえるようにコミュニケーションをとっていく。

『子どもが意見を述べる場の提供』

- 小学生の意見を基に事業を実施し、将来中学生・高校生世代になった時に児童館を地域の拠点として引っ張っていってくれる。
- 子どもたちがルールを作る児童館を理想に、何の為にルールがあるのか、必要なのか、自由とルールが話し合える児童館にしていきたい。乳幼児親子についても、子どもたち同様となる様に職員が積極的に関りたい。
- 子どもが主体的な活動を行える場所であるとともに、県内児童館に対してもその必要性を発信しながら、県内児童館の活動をよりよいものにできるよう今まで以上にサポートしていきたい。
- 子どもたちの「やってみよう」が「やれる」児童館に向けて、子どもたちによる自治運営の「こどものまち」を行いたい。
- 今、児童館に何を求め、何を行ってほしいか、子どもや保護者の方にアンケート調査を行いたい。
- 子どもの主体性を大事にして子どもたちがボランティアとして意見を言ったり、企画・運営したり、楽しんで参加できるイベントを作っていきたい。



### 『配慮を必要とする子どもへの対応』

- 一人一人がじっくり遊べる場、多動のお子さんも遊べる等、個性のあるお子さんも健常児のお子さんと一緒に関わって遊べる場になっていけると良いと思う。
- 支援を要する子どもたちや家庭を支えられるように、関係機関との連携がとれるようにしていきたい。
- 不登校児支援や学習支援を含む、子どもの居場所づくり。
- 何かあれば相談できる人間関係を構築し、抱えている課題に早期対応できる環境を整える。
- 様々な福祉課題が混在する中で、早期対応や予防に力を注ぎ、子ども・保護者共に生きやすくなり、幸せを感じられるよう支援していく。
- 中高生も含めた要支援の対象者も、誰もが対象となるようなユニバーサルな支援。子どもの生活の背景にも視野を向け、家庭丸ごと支援ができるような体制づくり。

### 『子育て支援の実施』

- 身近な相談場所として、子育ての悩みなどを話せる場所にしていきたい。
- 継ぎ目のない子育て支援の場として、人との交流をつなぐきっかけの場、異世代が交流できる場として今後も役割を果たしていきたい。
- 乳幼児で利用される方々には、横のつながりがより強くなることのできるような環境設定を築くこと。
- 地域の幼児教育の要となることを理想として、幼児教室や親子広場などプログラムの充実を図っていきたい。
- 家庭ではなかなかできない遊びを乳幼児親子に提供する。

### 『地域の健全育成の環境づくり』

- 0歳から高齢者が自由に来館でき、皆が人財になるような、皆が孤独でなく、自然に交流できるような、地域に根差した皆にとって居心地の良い児童館が理想。
- 小型児童館の役割として、地域の高齢者などとの交流活動を行いたい。それを通して顔見知りになり、防災活動時等に子どもたちが高齢者を手助けする姿を理想としている。
- 児童館外（隣接する公園）へ出向き、児童館の遊び体験や職員と顔見知りになる機会を設ける。

### 『ボランティア等の育成と活動支援』

- コロナ禍でボランティア活動を休止していたが、今後は児童館利用の対象者によるボランティアの機会を作ったり、大学生のボランティアに来てもらったりして、幅広い年齢が関わり合える場を設けたい。
- 休み期間の勉強ボランティア（大学生から小学生など）。中高生のボランティア活動の充実。
- 地域のボランティアの方たちの力を借りて、異年齢の子どもたちが一緒に楽しめる機会を提供していく。



#### 『放課後児童クラブの実施と連携』

- 放課後児童クラブ在籍児童と一般来館児童の共存についての改善（場所や遊具など）。

#### 『広報に関すること』

- 児童館は、“自由に遊びに来てよいところ”であるという情報が幅広い年齢層に広がるようアピールしていきたい。
- 児童館の社会的認知度が低いように感じる。児童館の役割が幅広いので職員の捉え方にバラつきがある現状。児童館がどんな場所であるのかをもっと明確にして世間に知ってもらいたい。
- 児童館＝児童クラブというイメージをなくし、18歳未満の子が誰でも自由に出入りできる場であることをアピールしていきたい。

#### 『アフターコロナに関すること』

- コロナ禍により、特に小学生の利用が激減した。コミュニケーションの場所として、またみんなが集まって遊べる場、異年齢交流の場にしたい。
- ポストコロナ社会では対人関係が一層重要となるので、児童館で同学年だけでなく異学年や異世代交流のプログラムを充実させていきたい。

#### 『スタッフに関すること』

- 児童館で子どもを抱え込むことも辞めたい。地域に出て子ども拠点をたくさんつくりたい。そのためにも職員の意識向上が不可欠。
- これからは時代に合わせた活動や遊びを提供しないとイケない。流行や風潮に対してアンテナを高くして、職員全体の資質向上に努めたい。
- 児童館職員の資質向上のため気楽に職員同士が話せる場を作る。問題にはチームで取り組む環境づくり。

#### 『その他』

- 子どもの居場所や環境、遊びの提供による経験等、健全育成を意識して運営をしているが、今の時代に対応した環境整備（ネット、開館時間、飲食等）の必要性を感じている。
- グローバルな居場所となれるよう環境を整えて多文化共生の居場所としたい。



## まとめ～調査結果からの考察～

今回のアンケート調査結果からの考察を以下のとおりまとめました。

### 1. 児童館ガイドラインの周知・活用について

ガイドライン内で整理している活動内容のうち、実施している活動として最も多かった活動が「遊びによる子どもの育成」「子どもの居場所の提供」「保護者の子育ての支援」。想定していた以上にガイドラインの周知がされており、運営面でも大半の児童館で活用ができていたことが分かった。

### 2. 児童館の利用者について

年齢層ごとの利用者の割合として「乳幼児」と「小学生」で9割以上を占めており、引き続き「乳幼児」「小学生」の利用を継続しつつも、「中学生」の利用を増やしたいと考える児童館も2割以上あった。

### 3. 児童館の利用方法について

飲食・携帯・玩具等の持ち込みには、大半の児童館が一定程度の制限を設けている。小学生までの利用が大半を占めている現状の利用状況からも利用方法に制限を設けることで、安心安全な環境を確保できていると考えられるが、これらの制限が中高生の利用を阻害している要因になり得とも考えられる。今後、中高生の利用を増やすことを考える場合には、利用環境や利用ルールの見直しも検討する必要がある。

### 4. 児童館の遊びの環境について

現状の利用状況に付随して、「乳幼児・小学生向けの遊びの環境」が充実している児童館が約9割で、今後増やしたい年齢区分に付随して、「中学生向けの遊びの環境」を充実したい児童館が約2割であった。

### 5. 児童館で実施している諸活動の内容について

乳幼児親子向けの活動は頻繁に教室的な感覚で行っている児童館が多く、小学生向けの活動は運動遊びや季節の行事等、イベントとして年に数回程度実施している児童館が多い。中高生向けの活動についてはほとんどの児童館で実施されていないが、イベント等のボランティア活動としての来館が多く、学校と連携をとり、ボランティア活動などを通して、児童館の良さを知ってもらおうきっかけになっていると推測される。

### 6. 児童館で配慮を必要とする子どもへの対応について

対象児童であることの把握は、本人・保護者からの申告・相談・話の中で把握することが多くなっている。対応した際に困ったことは、対応方法などの判断に困ったという回答が多く、事実確認ができないことや守秘義務について悩んでいる、専門的な知識が不足しているため相談を受けても対応できないといった回答もあった。児童館として何が大切かという問いには、概ね全ての項目が選択されたが、「地域や関係機関との連携」「児童館内の情報共有」が特に多く、児童館内外問わず情報共有が重要であると考えられている。

### 7. 子どもが参画する取り組みについて

子どもが参画する取り組みを「行っている」児童館は4割に満たないが、子どもたちに寄り添いながら、子どもの意見や真意を聴こうとする取り組みが広がってきている。他の児童館での具体的な取り組みを参考に、職員だけが考える児童館ではなく、子どもたちと一緒に考え、つくり上げていく児童館が増えていくことを期待したい。

### 8. 理想の児童館について

自由記述の内容をガイドラインの項目に区分けしたところ、現状実施している活動に付随して「遊びによる子どもの育成」「子どもの居場所の提供」「子どもが意見を述べる場の提供」に関する記述が多く、子どもたちに寄り添った児童館を理想としていることが分かった。児童館の3つの特性（拠点性・多機能性・地域性）を活かし、自己効力感や自己肯定感が醸成できるような環境づくりに努めるとともに、子どもの自発的な活動を尊重し、社会性を育むように援助することで、安全に安心して過ごせる場となり得ると考える。

## おわりに

令和5年4月、「こどもまんなか社会」の実現を掲げたこども家庭庁が発足しました。

児童館は、子どもが自らの意思で自由に来館して、安心して過ごすことができる児童福祉施設であることが児童館ガイドライン（平成30年厚生労働省子ども家庭局長通知）に示されているように、子どもにとって欠かすことのできない居場所です。

昨今、子どもの数の減少、TVゲーム・スマホの普及や塾・習い事の増加などにより子どもの遊びや子ども同士の関わりが少なくなっています。また、貧困家庭や生きづらいと感じている子ども、居場所がなくて地域をさまよっている子どもが増加しているという現状が問題視されています。

令和4・5年度の活動研究委員会では、今回の報告書を通じて、愛知県の児童館でがんばっている“あなた”が「理想の児童館」を考えるきっかけとなり、その「理想」を実現するためには、何が必要なかを子どもと一緒に考え、子どもたちが主体的に「居たい」「行きたい」「やってみたい」と思えるような「居場所」の一つに「じどうかんもあるよ!」と伝えていただけてほしいことを願っています。

児童館が子どもたちの笑顔であふれる居場所となりますように…

活動研究委員会一同

### 活動研究委員会メンバー

|         |   |                |         |
|---------|---|----------------|---------|
| ❁天野 由香子 | ： | 弥富市／白鳥児童館      | 令和4年度   |
| ❁鬼頭 美和  | ： | 飛島村／飛島村児童館     | 令和4年度   |
| ❁鈴木 康允  | ： | 田原市／子育て支援課     | 令和4年度   |
| ❁武 美保子  | ： | 蒲郡市／おおつか児童館    | 令和4・5年度 |
| ❁永田 凌太  | ： | 阿久比町／子育て支援課    | 令和4・5年度 |
| ❁若井 雅宏  | ： | 豊明市／子育て支援課     | 令和4・5年度 |
| ❁瓜生 俊基  | ： | 小牧市／こまきこども未来館  | 令和5年度   |
| ❁大場 幸司  | ： | 田原市／子育て支援課     | 令和5年度   |
| ❁酒井 糸保  | ： | 瀬戸市／交通児童遊園     | 令和5年度   |
| ❁服部 加奈子 | ： | 豊山町／しいの木児童センター | 令和5年度   |



令和4・5年度 児童館活動研究報告書  
『がんばれ 愛知の児童館』  
(令和6年 3月発行)

編集・発行 愛知県児童館連絡協議会  
印刷・デザイン 株式会社ジーピーセンター

